

武蔵野市第三次男女共同参画計画推進状況報告書(事業実績)

基本目標							【評価基準について】 ＜主管課の自己評価＞ A:順調または目標達成 B:概ね順調だが、さらに工夫が必要 C:検討が必要 D:実施せず	次期計画での区分 ・「継続」…現状維持 ・「充実」…規模の拡大や質の改善を図るなど ・「見直し」…規模の縮小、今後実施の見込みがないなど ・「終了」…次期計画には掲載しないもの	数値は、計画終了年度の「令和5年度時点」での目標数値			
基本施策									次期計画での区分	事業の対象者	数値目標の有無	数値目標
施策												
事業名	事業概要	区分	主管課	平成30年度事業予定	平成30年度事業実績	評価						
基本目標Ⅱ 生活と仕事が両立でき、個性と能力を発揮できるまち (新規:3/継続:21/充実:14)												
基本施策1 ワーク・ライフ・バランスの普及・啓発												
(1)ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた普及・啓発												
13	ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた講演会や情報提供の実施	継続	子ども政策課	引き続き、事業の充実を図る。現在実施内容については未定。	平成31年3月10日、「子どもの隣で仕事をする」をテーマとする講演会『ハタラクカイギ2019』を関係課(生活経済・男女平等推進センター・子ども政策・高齢者支援課)との共管で実施。ワーク・ライフ・バランスの啓発に努めた。	A	継続	市民	無			
		継続	男女平等推進担当	引き続き、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた理解を深めるための講演会や情報提供などを実施する。	「(人生100年時代の)女性のためのマネーとライフのプラン(参加者31人、託児3人)」や「子育ても自分の生き方も！ママのためのライフキャリア講座(参加者34人、40人)」を実施したほか、まなこ104号にて家事ハラスメントを特集した。	B	継続	市民	無			
14	「まなこ」でワーク・ライフ・バランスの掲載	継続	男女平等推進担当	引き続き、ワーク・ライフ・バランスに関わる情報を掲載できるよう検討する。	「まなこ」104号にて家事労働ハラスメントを特集し、男性の家事育児参加の重要性や年代や家庭環境の異なる方との意見交換などを掲載し、家事労働の重要性に対する意識啓発を行った。	A	継続	市民	無			
基本施策5 男性の家庭・地域活動への参画推進												
(1)男性の子育て、介護、地域活動等への参画促進												
48	男性の地域活動について「まなこ」やヒューマン・ネットワークセンターを活用した情報提供と啓発活動	継続	男女平等推進担当	引き続き、まなこやセンターの講座等を通じて、男性の育児・介護への参加呼びかけ、ワーク・ライフ・バランスについての情報提供を行う。	講座「家族のカタチ これまでとこれから～共働きがつらうのは、なぜ？(全2回 参加者25人、託児10人)」を実施したほか、まなこ103号にて「地域活動を考える」をテーマにこれからの地域活動のあり方などを特集した。	A	継続	市民	無			